

中野本郷小学校改築推進委員会 要 点 記 録

第 2 回

開 催 日 時	令和元年10月28日(月) 午前10時～11時15分	
開 催 場 所	鍋横区民活動センター	
出席者	委 員	深澤和夫、馬場光男、関正行、杉下文昭、齋藤明美、高野允雄、藤原義之、池田麻友美、佐藤三千子、那須京子、山崎由紀子、久保真由美、柳沢晶子、田端国弘、伊藤廣昭、塚本剛史 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校再編・地域連携係
	その他	子ども教育施設課
会 議 次 第	【議事】 1 校舎の建て替えの手法に係る検証結果について 2 新校舎の整備スケジュール(予定)について 3 その他	

第2回 中野本郷小学校改築推進委員会 会 議 要 旨

1 開会

委員長

定刻となったため、これより第2回推進委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

では、議事に入る前に事務局より説明がある。

事務局

第1回目の日程調整をした際、中野本郷小学校長の都合が元々つかない中で、開催をさせていただいた経緯がある。今回、改めて報告とお詫びをさせていただきたい。

なお、地域の学校ということから、今後の開催場所については、学校を中心に考えていきたいということもあわせて報告する。

委員長

それでは、前回、中野本郷小学校長の柳沢晶子委員が欠席されていたので、本日、一言挨拶をお願いしたい。

- ・前回欠席の委員の自己紹介

2 議事

議事（１）校舎の建て替えの手法に係る検証結果について

委員長

「議事（１）校舎建て替えの手法に係る検証結果について」、子ども教育施設課長の説明を求める。

子ども教育施設課長

まずは、A3の図面の資料から説明する。

中野本郷小学校については、今から3年後である令和4年から校舎の建て替え工事を開始する予定となっている。建て替え工事期間中については、現中野第一小学校（以下、「旧向台小学校」という。）にある校舎を仮校舎として使用する予定である。

旧向台小学校の仮校舎まで通学するという点については、通学距離が現状よりも長くなることから不安の声も頂戴しているところである。仮に、今の中野本郷小学校の校舎の校庭などにプレハブのような仮設校舎を建てて、現地建て替えをすることが可能かどうか、検討を行っていたところである。今回、その検証結果がまとまったため、報告する。

資料の表に「新校舎」と書いている部分は、検討するに当たって仮に配置した新校舎である。最終的な校舎の位置を示しているのではなく、今回の検証作業を行うため、仮に設置した新校舎の絵である。表の左側が仮校舎を旧向台小学校とした場合（以下、移転建て替えという。）であり、現在の計画の中身である。表の右側には、校庭に設置する仮設校舎を仮校舎とした場合（以下、現地建て替えという。）である。右と左で比較表になっている。

まず、表の左側について説明する。実際に建て替えにかかる期間（以下、工期という。）は、旧向台小学校に移転をして建て替える場合、2年6カ月を想定している。これは、校庭の整備期間までも含めた想定期間である。例えば、4月から小学2年生のお子さんが旧向台小学校の仮校舎に通うとすると、2年生と3年生の間は旧向台小学校の仮校舎に通って、4年生の時に新校舎が完成するという想定である。残り6カ月程は、校庭の工事が少し残っているといった範疇で調整できないか考えている。

次に、現地にプレハブの仮設校舎を建てた場合、建て替え期間は5年8カ月を想定している。なぜこれだけ期間に差が出るかについては、資料に簡単な工事の流れを示した。資料にStep.1、Step.2と書いてあるが、現地に仮設校舎を建てるとなると、工事を少しずつ進めていく形になる。例えば、最初の3カ月間でプールを壊し、そこにグラウンド込みの仮設校舎を建て、仮設校舎が建設されるまでは既存校舎に通う。仮設校舎が完成後、そこに学校が引っ越し、既存校舎の解体工事及び新校舎の建築工事が始まる。新校舎完成後、児童が新校舎を使用することは可能だが、グラウンドや給食室が使用できない等、全ての機能ができ上がっているわけではない。このように、少しずつ作業を進めていくという意味合いで、どうしても工期が延びてしまう。

仮に、仮設校舎で工事を進めるとなると、校庭に関しては5年8カ月間使えないことになる。

グリーンガーデンについては、工事では立ち入らないように配慮をしつつ、新校舎の建築を進めていきたいと考えている。

体育館は、工事期間にあたる5年8カ月間、常時使用可能である。新校舎の中に体育館を配置する計画で検討しているため、仮設校舎使用中は現在の体育館を使用し、新校舎建築後は新校舎の体育館を使用することが可能である。

プールは3年8カ月間使えなくなる。

給食室に関しては、工事期間中の2年間は学校の敷地内に設置できないため、給食室からの給食提供ができない。

最後に、通学の負担についてだが、旧向台小学校の仮校舎まで通うとなると、通学距離が長くなってしまいう児童が多いと思う。現地建て替えであれば、現在通っている小学校と同じ位置に通うことから、通学距離は変わらないが、工事をしている横を児童が通学することや、授業中の音や振動という点で教育環境としてはかなり困難が伴うものと考えている。

旧向台小学校の校舎については、今年度より、中野第一小学校の児童が使っているが、今年度統合新校がスタートするにあたって事前に校舎内の改修工事を行った。そのため、旧向台小学校の校舎を仮校舎として使用することは全く問題ないと思う。

新校舎の配置については、今回の検討作業における仮の案である。現在の体育館は、いわゆる平屋というか、1階部分のみであるが、新校舎の体育館は校舎と一体化し、プールを体育館の上に設置する形を考えている。現在、美鳩小学校やみなみの小学校、中野第一小学校等の建て替え工事を進めているが、今後、新しい小・中学校の改築については、プールを建物の屋上に整備する方針で進めていく。理由としては、中野区内の学校の敷地はどの学校も非常に狭いため、プールを屋上に持っていくことで、極力土地の有効活用を可能とする。また、水源を高い位置に設置することで、防火水槽の役割を果たし、停電になった時でも、重力で水を落とすことができる。飲み水にはならないものの、例えば、避難所となった際のトイレの生活排水等に活用しやすくなるため、プールを屋上に設けることが今後の学校整備の考え方である。

また、キッズ・プラザは、いわゆる放課後の児童の居場所であり、学童とは少し意味合いが異なる。学童とキッズ・プラザを併設して学校を一体整備する計画である。前回の推進委員会でも簡単に説明したが、中野区では、学校の図書室とは別に、地域の方が使える地域開放型図書館を整備していく方針であり、実際に、みなみの小学校、美鳩小学校の新校舎にも整備される。本当にごちんまりとしたスペースではあるが、予約をすれば、中央図書館等の本を取り寄せられる機能等を付加していく考えである。

そのほか、学校の教室の大きさや、廊下の幅等については、少しゆとりを持って現状の建物よりも一回り大きくしていく。学校規模を大きくするとはいっても、少しでも効率良くプランを考えていきたい。次回以降、新校舎の図面の案を皆さんに見てもらい、意見を頂戴したいと考えている。

建て替え手法の検証についての結果報告はここまでとし、続いて、今週の水曜日と来週の月曜日に中野本郷小学校で行われる意見交換会のお知らせをする。意見交換会において、改めて検証結果の説明の場を設けたいと思う。保護者の方や地域の方はもちろん、これから小学校に入学する幼稚園児や保育園児の方々にも声かけをし、たくさんの意見をいただければと思っている。

現時点の区の計画では、旧向台小学校の仮校舎に通いながら建て替えを行うことで決定しているが、こういった形で意見を聞きながら工事を進めていきたいと考えている。

委員長

説明のあった内容について、質問はあるか。

委員

私は旧向台小学校の仮校舎に通学するのが反対とか、仮校舎が良いとか悪いとか思っているわけではなく、工事の騒音の中で授業をするのも大変だとは思っている。この前発行された推進委員会ニュースにも、旧向台小学校の位置に移転するような案があり、もう決定みたいな感じに受け取れた。この資料は、誰が見ても、期間やお金がこんなにかかるならどうしようとなる。移転建て替えと現地建て替えて、こんなに倍以上の期間が本当にかかるのか疑問だが、そういうことには素人だから、言われたらそうなのかと思ってしまう。何をやる時でもいつもそうだが、もう全部決まっているんだという感じがある。

子ども教育施設課長

確かに計画としては既に決まっているところではある。旧向台小学校の仮校舎に通うことは決まっているものの、本当に現地建て替えができないのか、移転建て替え案がベストな形なのか、という声があったので、専門機関等に発注をしてこの検証作業を行った。

意見交換会等を通して、保護者の方々をはじめ、地域の皆さんから、これだけ工事期間がかかり、授業環境が悪くなっても、絶対に現地建て替えをするべきだという声が多数挙がったら、当然、区として受けとめたいとは思っている。あくまでも今の時点では、旧向台小学校の仮校舎に通学するという前提としており、これまでも説明してきたとおりである。

委員

この推進委員会ニュースが出た段階で、移転建て替えで決定したのだと思った。だから、これを見た方は、旧向台小学校の位置に移転するんだな、じゃあ現地建て替えの案はどうなったのか、と感じる方も多いと思う。今回のこの検証結果は、つまり、現地建て替えだとこんな不都合があるから、旧向台小学校の仮校舎を使用するということになると思う。

弥生町二丁目のごく一部が中野本郷小学校の学区域であるが、弥生町の方は推進委員会ニュースがなかなか手に入りにくかったりする。自分は弥生地区委員会にも出ており、流していい情報はそちらにも流したいが、どこまでを確定した情報として話していいのか、そこら辺がどうなのかなと思う。統合後、新校舎を建築している学校では、校舎が2年でできて、その後6ヶ月は校庭が使用できず、春の運動会が開催できないという例が今までもあると思う。そのため、この日程や工期に関しては、何となく納得ができるが、そこら辺の情報をどこまで流していいのか教えてほしい。

子ども教育施設課長

こうした考え方や、今回の検証結果は、既に区のホームページでも閲覧できる。広く意見を募っていききたいので、特にエリアを特に指定して募るということはない。

委員長

他にあるか。

—特に意見無し—

議事（2）新校舎の整備スケジュール（予定）について

委員長

それでは、「議事（2）新校舎の整備スケジュール（予定）」について、子ども教育施設課長の説明を求める。

子ども教育施設課長

では、引き続き今後の流れについて、報告する。現在、基本構想・基本計画（案）のたたき台を作成中だが、こちらを今年の12月頃に開催する第3回推進委員会で皆さんに見てもらい、意見を伺った上で、年明けの1月頃に案の取りまとめを行いたいと考えている。来年2月には、地域の方々と意見交換会を開催し、そこでいただいた意見も参考にしながら、今年の3月末には基本構想・基本計画をまとめていきたい。この基本構想・基本計画がまとまると、令和2年度と3年度の2カ年は基本設計・実施設計を進めていく流れで考えている。

委員の皆さんから意見等があれば、推進委員会の場以外でも、私どもにお知らせ願いたい。推進委員会の場でもしっかり説明をしていきたい。

委員長

スケジュールについて意見はあるか。

—特になし—

議事（3）その他

委員長

それでは、「議事（3）その他」に入る。何か質問等はあるか。

委員

旧向台小学校の仮校舎を使用する場合、本町六丁目の方から通わせるとすごく遠くなるお子さんがたくさんいると思う。そこまで通学距離が長くなると、親としては、通わせるのが心配だと思う。距離的にも、小学校1年生、2年生だと通学だけで疲れてしまうのではないかなと思うので、その辺の配慮や工夫は何かあるのか。例えば、その期間だけスクールバスを設けて、遠い子は利用させてもらう等すれば、遠くなった子たちの親も特に心配なくなるのではないかなと思った。

事務局

スクールバスを使用するかどうか等の調整はまだ先にはなってしまうが、意見交換会の場においてもそういった話や要望を聞いた上で、課題等の確認を含めて考えていきたい。

委員

関連したことだが、今の3年生くらいまでの児童の中には、建て替えて旧向台小学校の位置に行くのは遠いから、最初から桃花小学校に入学する児童が多くなっている。遠いから桃花小学校へ行きたい、途中で通学する校舎が変わるのは嫌だから、という人に対して、全て許可するのか。受け入れが可能であれば入れてあげれば良いと思うが、桃花小学校の受け入れ態勢がどういう状態か気になる。例えば、桃花小学校に入学したら6年生までいなくてはいけないのか、新校舎ができあがったら中野本郷小学校に戻ってきてもいいのか。

事務局

確かに、桃花小学校は児童数が多く、校舎に対してかなり余裕がない状況にある。今後、教室を増やす工夫や工事も行っていかなくてはいけないと思っている。桃花小学校の教室を増やすための設計作業については、今年度行っているが、それは指定校変更による児童の増加に対応するためというよりも、教室数にゆとりをつくるためである。

事務局

指定校変更の考え方になるが、先日実施した上高田小学校と新井小学校の統合に伴う説明会では、現在の規定上、入学時に選択した学校に卒業するまで通ってもらうことになっていると説明した。今後、指定校変更の考え方を変えるということが全くないわけではないが、現行の規定ではそうになっている。

また、通学距離が長くなるので、安全の誘導員等については所管で当然考えていく。

委員

おそらく、今、幼稚園に通っている年少、年中、年長のお子さんを持つ保護者は、あと数年のことなので、その不安はすごく大きいと思う。スクールバスが可能かどうか、できれば早くわかると、わざわざ桃花小学校に越境通学しなくても中野本郷小学校で安心だと思う方もいると思う。できる限り早く対策をしてもらえると、桃花小学校の人数が今以上増えることも少なくなるかもしれない。

委員

今の話を聞いていると、区側の大人の考えばかりである。こういう配慮をしますよ、こういうことも考えていますよ、という対案を用意しておかないといけない。必ず質問が来るため、それについて個別に検討しますでは全然進んでいかない。今いる児童と、これから通う可能性のある児童も含めて、いろいろな意見に対応できるような形にしておかないと、学校ができたは良いけど、6年間同じ学校に通う児童がいなくなってしまうかもしれない。友達との関係が一番大切な時期に、大人の都合だけで決めてしまうというのは大変な危機感もある。その辺をぜひ皆さんで検討をして、納得できるような回答を持ちながら説明会に臨まないで紛糾するだけで終わってしまうと思う。

委員

移転建て替え案と現地建て替え案の両方を見ると、明らかに現地建て替え案の方が×が多過ぎる。これは誰が見ても、旧向台小学校の仮校舎を使用した方が、費用面や他の設備面を考えても良いなというのはわかる。ただ、唯一×があるのが「通学の負担」であるが、どういうふうに対処するのか、必ず質問が出ると思う。例えば、本町六丁目に住む1年生が旧向台小学校の仮校舎まで通うとなると、通学距離が倍以上になってしまう。次の意見交換会でも同じ質問が出ると思うので、明らかに出る質問に対しては、これから検討するのではなく、こういう代案があるというのを出さないといけないと思う。意見を受けてから区議会で諮っても、区議会で採用されなければ、結局課題は解消されないままである。

早急に、通学の負担がなるべく解消されるように検討をお願いしたい。

事務局

意見交換会でもいろいろと話が出てくると思うが、委員会の中で皆さんからいただいた意見も含めて検討していく。スクールバスについては、これまで全く話が出てこなかったわけではないが、今、確実にこうだと示すことはできない状況である。

委員

30日に説明会を行うために、その対応をどうするか考えながらまとめるならいいが、我々が意見を言って、保護者の方からも意見を言われて、全部のみ込んで検討すると言うだけでは全然進んでいかないと思う。

事務局

少し苦しい部分だが、この場で絶対やりますと言えないところがある。

前向きにしっかり受けとめるというところは間違いないが、どれくらいバスが配置できるのか等、そこまでの検証はできない。皆さんが不安にならないような伝え方は心がけていきたい。

委員長

意見交換会でも当然、今委員から出たような意見が出ると思うので、回答できるようにしてほしい。

委員

ずいぶん前に、過去の統合校の意見交換会に出たことがある。その際、保護者の方が通学時間に何分かかるか聞いたが、区の担当が回答した時間は、大人の男の人が手ぶらで歩いた時間であり、子どもが重たい荷物を持って歩く時間ではなかった。資料には直線距離しか示されていないし、特に、月曜日は上履き等いろいろな荷物を持って登校するため、通学に倍くらい時間がかかるかもしれない。通学時間を検証をする際には、そういう点も考慮してほしい。

細かくなくていいが、その地域から小学校1年生が歩く時間を単純に計算して、何分で行けるという回答を簡単にしてほしい。小学1年生がランドセルを背負い、多くの荷物を持ってよろよろ歩くと、通学時間にどのくらいかかるか、小学1年生のお子さんが実際にかかる時間で答えてほしい。

委員

こういった校舎の建て替えを行うケースは何校目か。もう実際にやっているところが何校あるのか。

事務局

これまで統合に伴って校舎を建て替えた学校はあるものの、50年以上経った建物を建て替えていくケースは、今回が初めてである。

委員

前例として、1,900メートル程の距離を通学しているケースもあるのか。

事務局

統合に伴い、一時的に仮校舎を使用するため、仮校舎位置から遠い学校に通っていたお子さんについては、先ほどの話にも出たみなみの小学校の例のように、これまでの通学距離と大きく変わらない程度の距離で通学していたことはあった。今回出た話も含めて、再度検討していく必要があると考えている。

委員

この話の流れとは少し違うが、意見交換会の日程を今日初めて知ったのだが、この日程はいつ頃決めたのか。

事務局

2週間ぐらい前である。

委員

幼稚園等に通う園児の保護者がもっと早くわかっていたら、都合をつけて行きたいと思う方もいたかもしれない。

事務局

地域の幼稚園と保育園には意見交換会のお知らせを掲示している。

委員

仮に、家は中野だが、杉並や他の幼稚園に通っているという保護者は、目にしていないということか。私も今ここで目にした状態だが、できれば、中野本郷小学校の学区内の各掲示板等に掲示してもらえればありがたい。興味がある保護者には絶対必要な情報だと思う。

事務局

掲示板には張ってある。

委員

全部の掲示板に貼ってあるということか。

事務局

貼ってあると思う。

委員

もう1度確認してみる。目にしなかったような気がした。

委員長

ほかにあるか。

委員

1点だけ確認したい。今、みなみの小学校でも同じような改築の事例があり、建て替えをしていると思う。みなみの小学校の学区の端から、現在、仮校舎として使用している新山小学校まで歩くのは相当な距離あるが、それに関して何も話は出なかったのか。

私の家も弥生町二丁目の端の方にあるが、そこから新山小学校まで歩いた際、大人でも結構足にきた。この距離を小学1年生が歩くと大変だろうなと思いながら歩いていたが、実際に弥生町三丁目の方から歩いている児童もいる。みなみの小学校の建て替えの時も同じような質問が出たと思うが、それに対して、今回の中野本郷小学校の建て替えに際しても同じような質問が多数出ていると思う。先ほどの話と重複してしまうが、それを踏まえて考えてもらうことはできるか。

事務局

先ほど話があったように、前はこうだったから同じ対応をするということは考えていない。今回は今回の意見としてしっかり受けとめ、前はこうだったからやらないという言い方にはならないよう、区として対応していきたいと考えている。

委員

おそらく、同じような話が多数出てくると思う。何となく似ているような感じがする。

委員

結構な人数が指定校外の向台小学校や中野本郷小学校等に行ってしまうている。

委員

普通なら、前回こうだから今回はこうする、というように、前例を出してもらった方が我々も参考にしやすい。前例なしで、あまりよく把握していないと言われると、ゼロに戻ってしまう。

事務局

みなみの小学校は統合校の考え方であり、状況は同じようでは同じではないというところがある。

委員

統合の場合に、校舎の建て替えをしているところはあるということで良いか。

委員

新校舎完成後の2年後に戻ってこられるという感覚がある。だが、新山小学校に関しては、もう2年どころではない。

委員

予定より結構遅れている。1年間何もせず、学校の前を通る度に廃墟のようになってきたと思ったら、やっと解体工事が始まったものの、更地になったままで新築工事が始まらない。今は新築工事をしているみたいだが、2年我慢すれば戻ってこられると思って向こうまで通っていたお子さんは結構いると思う。うちは中野本郷小学校の区域だが、本郷通りに面していて、反対側は

中野神明小学校の区域である。その子たちが今、旧新山小学校の位置まで通っているというのは、結構大変なようだ。通学の負担を気にされる保護者の中には、早々に私立の小学校に行った方もいるし、指定校変更で向台小学校や中野本郷小学校に行った方もいる。小学校の場合は、子どもたちというより、保護者の方の考えもあると思うのが、もし仮校舎に移るとしたら、この2年6カ月という工期は絶対守ってほしい。

委員長

他にあるか。

委員

確認だが、今日の推進委員会で出た意見を踏まえて、意見交換会が実施されるのか。

子ども教育施設課長

もちろん、今日出た意見を踏まえた上で、意見交換会の意見についても全て受けとめたいと思っている。

委員

推進委員会でスクールバスについて意見が出たこと、また、それを検討しているということは意見交換会で話すのか。

事務局

推進委員会で意見をいただいているため、意見交換会でも同様の意見が出てくれば、区の検討すべき課題として考えているといった答えになるかと思う。

委員

先に説明はしないのか。

事務局

スクールバスについていただいた意見については、意見交換会の場で最初に説明するとともに、今後検討していく旨を伝えたい。

委員

必ず重複する意見は出ると思うので、こういう意見も出たということを紹介してほしい。その意見は初めて聞いたという受け身ではなく、対応案をきちんとつくって意見交換会に臨んでほしい。

意見交換会には、地域のことを考えて出ている方もいるが、自分の子どものことを第一に考える方が多く出てくると思う。

例えば、重たいランドセルを背負って通学する負担を軽減するため、宿題等を2年間なくしたり、マイクロバスで送り迎えすることで安全の便宜を図ってほしい。お金がどうこうではなく、まずは子どもの安全を考えた回答を用意しておいた方がスムーズに意見交換会が終わるのではないか。

委員

全部否定しようということではなく、改築のための最善策を早期に決めて、新校舎の完成がスムーズにいくためにはどうしたらいいか、みんなで検討をしていくことが一番良いと思う。

委員

工期について、移転建て替えの場合は2年6カ月とあり、下に「※実際の工事発注期間は含まれません」とあるが、この書き方だと、2年6カ月で完全に出来上がるものとして受け取れる。これまでの建て替え等でも工期が多少遅れていたりするので、例えば、「2年6カ月から3年」等ゆとりをもった表記の方が私たち通わせる身としては良い。状況がいろいろ変わっていくと思うので言い難いのはわかるが、そこはやはり期待を込めてしまうので、表記の仕方を検討してほしい。

子ども教育施設課長

それは逆の意味合いで、区が発信する信憑性に関わると思っている。あくまでも現在想定しているのは2年6カ月であり、注釈表現を添えるのがふさわしいと考えている。

委員

こういうマイナス面があるにしても、まずは中野本郷小学校のPRをしていかなくてはならないと思う。ただ課題やマイナス面を挙げるだけでは、みんな不安で首を傾げてしまう。保育園や幼稚園に通う園児の保護者が、ここなら通わせたいと思う魅力を伝えなくてはならない。また検討しただけでは、改築が進んでいかないと思う。

子ども教育施設課長

今回の意見交換会では中野本郷小学校のPRまでは出ないが、12月上旬には、先ほどの基本構想・基本計画（案）を子ども教育施設課がつくるため、議会に報告後、その辺りのもう少し具体的な中身を示すことができると思う。

委員

それだと意見を言われるばかりで、これから検討するという回答ばかりになってしまうと思う。何回も説明会を重ねていってもなかなか一番最初のマイナスイメージは消えないため、最初の説明会はすごく重要だと思う。中野本郷小学校に通わせたい、と思う親の心をくすぐらないといけないと思う。検討すると答えるだけでは、みんな不安で、他の小学校に行ってしまう。

委員

グリーンガーデンは残すという方向で動いているが、旧向台小学校の仮校舎に通うことになった場合、授業時間内に移動および利用することは引き続き可能か。

子ども教育施設課長

仮にグリーンガーデンを利用する場合、定期的に通って作業をする等の運用が可能だという話だけであって、授業時間内に行って帰ってくる、ということは授業のカリキュラムの考え方なのかなと思う。

委員

私の出身の小学校には、1年生で40分程かけて通学する子もいた。田舎だからそれが当然と思っていて、中学校も1時間程かけて登下校していた。通学する際、登校班があったのだが、保護者が旗振りで要所要所に立っていた。もし、スクールバスを使用せず、子どもたちだけで登校するとなった場合、そういった検討は区であるのか、学校であるのかは決まっているか。

事務局

これまでの統合校の例でしかないが、令和小学校として統合する上高田小学校と新井小学校の場合、新井小学校は登校班をつくり集団登校しているが、上高田小学校は登校班をつくっていない。中野本郷小学校の新校舎ができるまでの間に、登校の仕方も含めて検討いただけるのかなと考えているが、それについて教育委員会が指示をするわけではない。

委員長

他にあるか。

ー特に発言無しー

委員長

予定していた議題は全て終了した。次回開催日程について、事務局の説明を求める。

事務局

次回は12月9日月曜日の10時から、中野本郷小学校で開催する。

委員長

時期が近づいたら、開催通知を事務局から送付する。本日の推進委員会はこれをもって終了する。